

評価担当者	課名	氏名	内線
	秘書・総合政策課	平山博造	2110

コード	VI-17-39	施策名	公共交通の利便性の向上
施策の方針	交通基盤を整える		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		
施策の目的	高齢社会を迎えた現在では、高齢者の福祉施策としての外出機会の確保と交通事故防止策として公共交通の利用を促進することは必要であり、そのために公共交通に対する市民のニーズを的確にとらえ、安全で利便性の高い公共交通の在り方の再構築をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス、既存の民間バス路線やスクールバスなど全体的なバス路線について検討します。 ・福祉・教育・地域コミュニティから見た公共交通の在り方を踏まえた移動手段の確保を検討します。 ・以上の点を踏まえ交通事業者との連携・協力体制の強化を図ります。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
コミュニティバスの乗車人数	市内のコミュニティバスの乗車率の平均(人/便)	目標	人	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6
			実績	3.40	3.4	3	3		
			達成率	%	-	99.7%	87.8%	79.7%	
コミュニティバスの利用者数	市内のコミュニティバスの利用者延べ人数	目標	人	14000	14000	14300	14700	15000	15400
			実績	14000	13434	12986	12699		
			達成率	%	-	96.0%	90.8%	86.4%	
臼三線1便あたりの乗車人数	臼三線1便あたりの乗車人数の推計	目標	人	6.6	6.6	7.0	8.0	8.0	8.0
			実績	6.6	6.6	6.2	6.4		
			達成率	%	-	100.0%	89.1%	80.0%	
		目標							
			実績						
			達成率	%					
		目標							
			実績						
			達成率	%					
		目標							
			実績						
			達成率	%					

指標の分析

乗車率については全路線減少傾向にあります。一番乗車率の高い市内循環線については、乗車人数は増えていますが、便数も増えているため、乗車率は減少しています。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	
市民意識調査結果 (H29調査)	強化領域	2.50	1.50	
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>・アンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	市内循環線の路線増便、停留所の変更等、これまで路線の見直しを行ってきましたが、乗車率の増加には結びついていません。コミュニティバスの活用についての広報、PR活動が必要です。また白岩線、六ヶ迫線の乗車率は特に悪いため、補助金対象外になる危険性もありますので、路線上の関連地域に利用促進のための説明会、聞き取り等が必要です。
-------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1	地域公共交通対策事業	コミュニティバス9路線や地域住民の生活や学生の通学に不可欠な民間バス路線維持のための財政支援	秘書・総合政策課		43,745	28,290	29,857	継続	
2	大分空港アクセスバス運行事業	県南地域と大分空港とのアクセスバス「佐臼ライナー」の運行経費負担金支出及び停留所、駐車場整備	秘書・総合政策課		3,963	2,824	3,111	継続	IV-9-17
3	高校生バス通学用定期券購入助成事業	市内高校に通う子どもたちのバス通学定期券購入補助(1ヶ月につき1万円控除した額)	秘書・総合政策課		4,983	5,061	6,309	継続	VI-17-39
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計					52,691	36,175	39,277		

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	臼杵市地域公共交通網形成計画は、公共交通を一つのライフラインと位置づけ、地域コミュニティや観光等、まちづくりの視点も取り入れた平成33年度までの交通体系の在り方を示すものです。免許証の返納が加速化するなか、交通不便地域をはじめ買い物や病院などの市民の移動手段の確保として更に重要性が増しています。計画を実行するにあたり、交通事業者はもちろん、地域振興協議会や自治会などとも連携して、高齢者を中心とする交通弱者にとって利用しやすい施策を効果的に実行していく必要があります。	課長評価
やや遅延		重点施策であり、前期計画終了(2019年)までに強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--